

件名	第9回外傷等動向調査委員会
日時	平成28年5月9日(月) 18時25分～19時30分
場所	市役所303会議室
出席者	<p>委員：足立寿 委員 久留米大学(委員長) 浅倉敏明 委員 久留米医師会 浅倉整形外科委員(副委員長) 山下寿 委員 聖マリア病院 平木重晃 委員 久留米広域消防本部 救急防災課長 内藤美智子 委員 久留米市保健所長 長島正明 委員 久留米市協働推進部長</p> <p>事務局：江原主幹、松本主査、末安(安全安心推進課)、各対策委員会事務局 笠次長、石橋補佐、中園(総務医薬課)</p>
次第	<p>1. 開会 2. 協議事項 (1) セーフコミュニティ外傷発生調査結果について (2) 平成28年度セーフコミュニティ推進計画について ①平成28年度セーフコミュニティ推進スケジュールについて ②これまでの取り組みに関する効果確認・改善について 3. その他 4. 閉会</p>
〈議事録〉	<p>2. 協議事項 (1) セーフコミュニティ外傷発生調査結果について</p> <p>事務局 ・「セーフコミュニティ外傷発生調査結果について」事務局より説明</p> <p>委員長 今回の調査に関して、調査協力医療機関から、アンケート調査ではなく、レセプトを利用した調査を行えばいいのではないかという意見が出ていますが、いかがか？</p> <p>委員① レセプトでは、個人情報の問題もあるし、けがをした場所や原因がわからない。レセプトを利用した調査は不可能ではないか。調査協力医療機関が大変ではあるが、アンケートが一番いいと思う。</p> <p>委員長 レセプト調査は、医療機関の負担軽減を図るために出た意見だと思いますが、私も難しいと思う。</p> <p>委員② 苦労しなければ、良いデータは得られないと思う。 (アンケート調査が良いという意見に全員が賛同)</p>

委員長	今回の調査は、モデル的に整形外科の5医療機関に限定したため、地域別の比較ができないという課題が出ているようです。有効なデータ収集のための医療機関の選定について、何かご意見はあるか？
委員①	今回は、私（久留米医師会）を通して依頼をしたため、旧久留米市内の医療機関にお願いしたが、次回は各地区の医療機関にお願いすることはできると思う。
委員②	都市部と農村部では、けがの原因が違ってくるので、当然、地域が偏らないようにしないとイケない。
委員①	今回の調査は、外科、整形外科を対象に行ったが、他に診療科を広げる必要はないか？
委員③	脳外科も対象としてはどうか？
委員①	数は多くないと思うが、いいと思う。
委員②	次回調査する時は、数も地域も多くして、違いを見る必要があると思う。
委員長	次回調査も浅倉委員から各医療機関に依頼するのか？
委員①	次回も私が依頼してかまわない。次回調査はいつ頃の予定ですか？
事務局	今回の委員会で出た意見を踏まえて、今後検討していきたい。
委員長	調査項目及び内容についてはいかがか？
事務局	調査自体の有効性はあるということですので、細かい部分については、今日は時間の関係もあるので、今後引き続き、事務局の方で委員の皆さんの意見を聞きながら調整していきます。
委員②	今回の調査の主たる目的を教えてください。
事務局	セーフコミュニティの各対策委員会に今回の結果を提供することで、現在行っている取り組みの精度向上や、新たな取り組みを検討するための材料として活用してもらうことです。
委員①	今回の調査票の主たる診療科の中に、形成外科の記載があるが、外傷を診る形成外科は久留米にはないと思うので、次回から外してよいと思う。

(2) 平成28年度セーフコミュニティ推進計画について

①平成28年度セーフコミュニティ推進スケジュールについて

事務局

・「平成28年度セーフコミュニティ推進スケジュールについて」事務局より説明
(今後、過去5年分の統計データやアンケートを収集する予定。9月に第2回外傷委員会を開催し、これらのデータに基づき、取り組みの効果の測定や評価、今後の見直しについて、意見を伺いたい。3月に第3回外傷委員会を開催し、推進協議会で承認を得た今後の計画について報告を行いたい。)

委員①

医療機関アンケート調査は、3年に1回程度でよいのではないかと?

委員②

データを比較して効果の評価を行うのであれば、すべての条件を同じにして比較しなければならない。話を聞く限りではそのようなになっているとは思えないので、改善した方がよい。

委員長

データはどこから得るのか?

事務局

人口動態統計を保健所から、緊急搬送データを消防から提供していただく予定です。

委員②

データの何を知りたいのか?

事務局

けがの状況や、原因、場所などについてです。

委員②

救急搬送データを提供するのは問題ないかと?

委員④

データを抽出するシステムが変わった関係もあるが、調整して、出せるものについては提供する。

今後の進め方について、9月の外傷委員会の後、データに基づき評価した内容を、各対策委員会に助言するという事なのか?

事務局

イメージとしてはその通りですが、実際の助言等のやり方については、まだ検討しているところです。

委員③

各データについて、関連がない対策委員会もあると思うが、関連のある対策委員会だけで活用していくということか?

事務局

データと関連がない取り組みもあるが、実際に取り組みを行っている部や課が、個別に持っているデータもあるので、常に最新のデータに更新して、次の取り組みに反映してもらおうよう考えています。

委員長	データを最新のものに更新していくというのは、どのようなイメージか？
事務局	最初に、46の取り組み項目や、重点項目を決定する過程で、基礎となったデータがあります。そのデータが、実際に取り組みを進めていった中で、どのように変化していったかを見ることで、取り組みの効果を検証するための資料として、データを更新していくということです。
委員②	同じ条件でデータを比較すれば、の話ですが。
事務局	セーフコミュニティの取り組みを始めた、平成23年のデータと、同じ項目のデータを比較していくことになります。
委員⑤	データの経年比較を行う以外に、例えば、交通事故の発生状況に関して、国・県・他市の状況と比較して、高齢者の事故率が高ければ、高齢者の交通安全対策に力を入れるということになるでしょうし、あるいは、一定効果が出ている取り組みについては、新たな取り組みに変化させていくといったことを、この外傷等動向調査委員会の中で議論していくことになるのではないかと考えています。